

学 校 概 要

創立開校 昭和16年1月14日【開校記念日1月14日】 学校長 大島 宏二 副校長 大伴 紀子
 学級数 16 児童数 396【平成27年5月1日現在】 生麦中学校ブロック

学 校 教 育 目 標

知：主体的に課題や問題を解決する子どもを育てます。 徳：互いを認め合う豊かな人間関係をつくる子どもを育てます。
 体：自他の生命や健康を大切にする子どもを育てます。 公：自分たちのまちを愛する子どもを育てます。
 関：社会に視野を広げ、共に生きる子どもを育てます。

学 校 経 営 中 期 目 標

学校教育目標を実現するために児童とともにいい学校生活を創り、魅力ある学校づくりをします。
 ・一人ひとりの子どもが、学習することの楽しさを実感できる授業づくりを目指して、教師が授業力の向上に取り組みます。
 ・一人ひとりの子どもに、安全で安心できる居場所を提供することを目指して、安全安心の確保に取り組みます。
 ・一人ひとりの子どもの学校教育環境の質的レベルを保つために、教師が範を示して生活環境の確立に取り組みます。
 ・一人ひとりの子どもに学習しやすい環境を提供することを目指して、教育環境の機能化と改善に取り組みます。

学校経営
中期目標
設定理由

本校ではこれまで「き」希望 「し」幸福 「や」他愛を実現できる学校を目指して、学力向上、ICT推進、及びいのちを守る取り組みを中心に教育活動を推進してきた。その結果として、学習に熱心に取り組み、被災地を含め人の役に立とうとする態度が育成されつつある。
 今後は様々な課題を抱えている子どもに対して、いい学校生活を創るための取り組みを通して、より充実した学校生活が送れるようにする。そのためには中学校ブロックの学校と連携して、学校の組織力を生かし、指導力を向上させていく必要がある。

小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

共通目標

<生麦中学校ブロックの9年間で育てる子ども像>
 ○「まち」と関わり合いながら学び、「まち」を大切にする子ども
 ○「まち」の様々な方々や文化・行事などの関わりを通じて、豊かな情緒をもつ子ども
 ○学習や生活の良い習慣を身につけ、自分の力を伸ばそうと努力する子ども

自校の取組

9年間で身につける力を理解した上で日々の授業を実践し、確実な学力を身に付けて中学校に進学できるようにしています。
 中学校吹奏楽部演奏の鑑賞、岸谷まつりでの児童生徒交流、部活体験等を通して子どもたちが安心と期待感をもって中学校に進学できるようにしています。

共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
子ども自らが探求心をもち、学び続けることができるよう、取組目標や身に付ける力を明確に示した分かりやすく楽しい授業を追求しています。 また、小中学校間の連携を深めた授業研修を推進しています。	あらゆる機会を通し、「自分を見つける」「他者を理解する」「互いに理解し合う」ことができ、子ども自身が気付いたことを様々な人たちとの関わりの中で実践できる道徳教育、人権教育を推進しています。	基本的な生活習慣を身に付けることが健やかな体づくりにつながることを子ども自らが理解し、「食」や「体づくり」の大切さを保護者に発信し、理解、協力を図りながら、仲間と共に取り組む体づくりを継続しています。

重点取組分野

4 教育課程・学習指導	5 児童指導	6 教育環境整備	7 生活指導
<p>授業力向上を目指し、算数を中心とする協働を重視した重点研究を推進しています。</p> <p>授業参観からの授業改善を日常化するステップアッププロジェクト、キャリアアッププロジェクトの活動を充実しています。</p> <p>授業改善に生かす他校授業研究会へ積極的に参加しています。</p>	<p>子ども一人ひとりの課題についての情報共有を図り、組織対応を徹底しています。</p> <p>いじめ防止基本方針に沿った横浜プログラムの活用などによる子どもの実態の丁寧な把握を行い、いじめの防止にもつなげています。</p>	<p>環境美化、学びの履歴の掲示など子どもの学習に適した教育環境の向上と教育環境水準の保持に努めています。</p> <p>教育環境整備のための予算執行の重点化による教育効果の向上を図っています。</p>	<p>生活目標と「岸谷あいうえお」との関連付け、「挨拶」「整理整頓」「授業中の姿勢」等の重点化による、日常的な生活習慣の改善を図る全校的、組織的取組を進めています。</p> <p>学級毎の行動目標の設定実践、振り返りの取組を進めています。</p>

人材育成・組織運営

- ・学校規模に合う分掌と組織を設定し、自発的な改善への取り組み、コンプライアンス、危機管理意識などの面で教師の力量が向上しています。
- ・学年研とブロック研を充実させ、若手・中堅・ベテランの意見や実践を取り入れた学習指導と生活指導双方の実践力を高めています。
- ・年代を超えて各自の課題を出し合い、授業を見合うことを通して自主的に授業改善に取り組むステップアッププロジェクトとキャリアアッププロジェクトの活動を充実させています。
- ・組織の効果的運営とミドルリーダー育成を目指し、朝の教務会では情報交換、意見交換を充実させています。
- ・授業、学年学級経営、研究部等では、リフレクションを定期的に行い、PDCAサイクルを通して教育活動をより充実したものにしています。